

USER MANUAL

DirLens ユーザーマニュアル

4つの分析ビュー、フィルタ、Inspector まで — 全機能の使い方と、
それぞれがどんな悩みを解決するのかを詳しく解説します。

Windows 向け・ディスク容量分析デスクトップアプリ

目次

01



DirLens の基本

概要・画面構成・使い方の流れ・ステータスの見方

02



分析を始めるまで

ディレクトリの選択、スキャンの進捗、エラー通知

03



4つの分析ビュー

容量別・拡張子別・サイズ順・更新日時別

04



絞り込みと詳細確認

フィルタ、Inspector パネル、OS 連携

05



運用とルール

再スキャン、表示フォーマット、対象外機能

ディレクトリの容量を可視化する、 構造理解・分析デスクトップアプリ



容量配分を把握

ディレクトリ配下で、誰がどれだけ容量を使っているかを一目で把握できます。



ドリルダウンで原因を追跡

ディレクトリ単位でズームしながら、肥大化の原因をたどれます。



拡張子ごとの構成比

例えば「.js が全体の何%か」を、切替ひとつで確認できます。

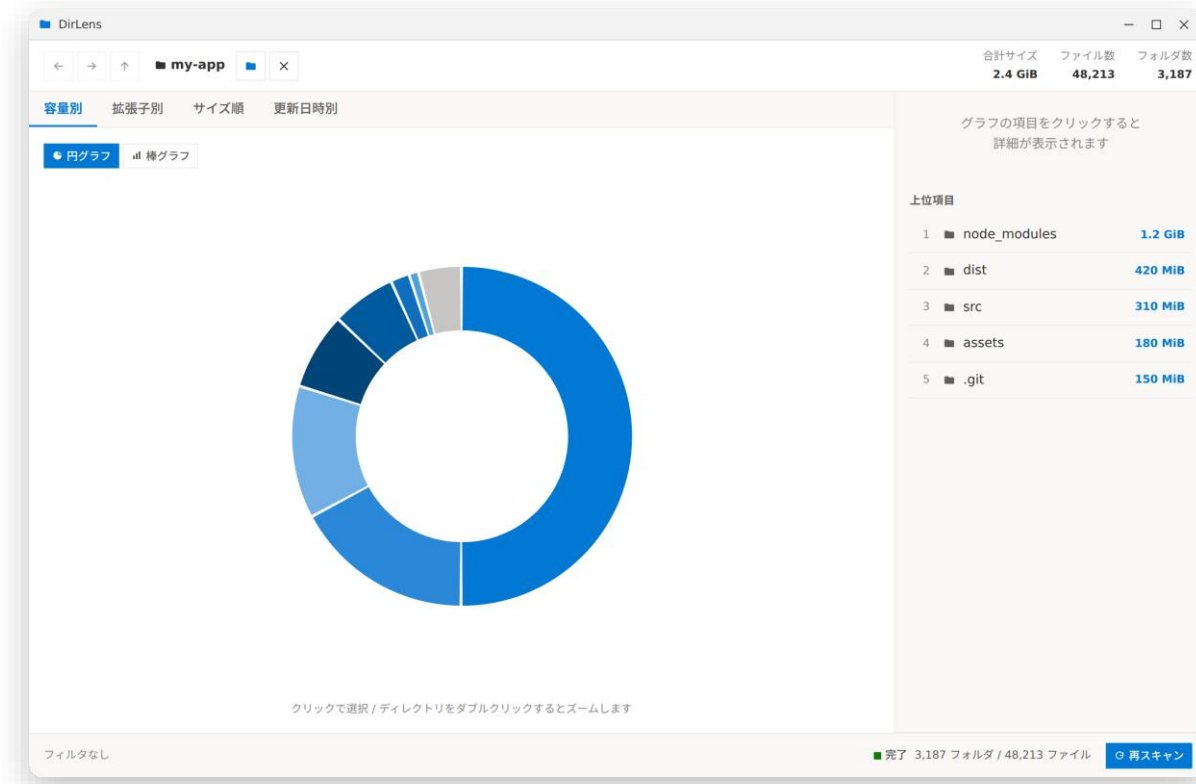


スキャン後は高速表示

完了後の閲覧・比較は集約データを参照するため高速です。



対象ユーザー 開発者・技術者など、ディスク容量を整理したい Windows PC ユーザー向け。ファイルマネージャの代替ではなく、削除・移動などの操作は一切行いません。



画面はこの5つのゾーンで構成されています

1 ヘッダー

ナビゲーション（戻る/進む/上へ）とパンくず、現在フォルダのサマリを表示。

2 ビュータブ

容量別・拡張子別・サイズ順・更新日時別、4つの視点を切替。

3 チャートエリア

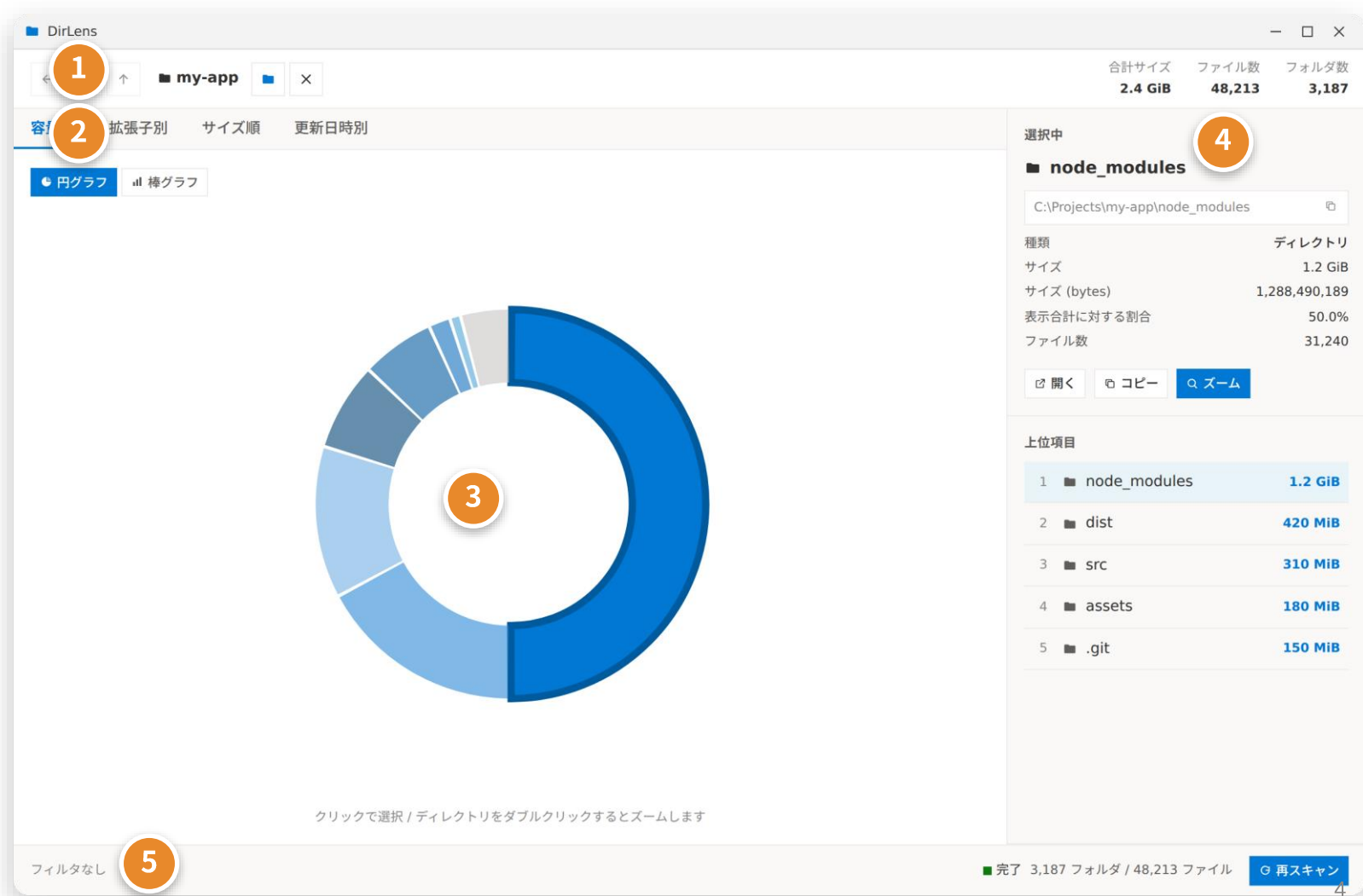
選択中のビューをグラフ/リストで表示。スキャン中は進捗表示に切替。

4 インспекター

選択項目の詳細(パス・サイズ・割合)と、開く/コピー/ズームの操作。

5 ボトムバー

フィルタチップ、スキャン状態、再スキャン/キャンセル。



スキャンから閲覧まで、4つの工程



STEP 1

ディレクトリを指定

フォルダ選択ダイアログでスキャン対象のルートを指定します。



STEP 2

スキャン（走査）

配下を再帰的に走査し、メタ情報をインメモリDBに格納します。



STEP 3

集計（集約）

走査完了後、配下合計・拡張子・更新日の集約テーブルを生成します。



STEP 4

閲覧・比較

完了後は、常に集約データを参照して高速に表示します。



補足 スキャン中は動作が遅くても構いませんが、UIがフリーズしないことを重視しています。完了後の表示・ズーム・フィルタ切替は、集約テーブルの参照のみのため体感で高速です。

ステータスドットが示す5つの状態

状態	ドットの色	チャートエリア	ボトムバー / ヘッダー
待機中 (idle)	グレー	データなしのプレースホルダー表示	「待機中」+ 再スキャン。サマリは直前の値（キャンセル後は 0）
スキャン中 (scanning)	青（点滅）	オーバーレイ：スピナー・訪問数・処理中パス・キャンセル	「スキャン中」+ 訪問数 + エラー件数。サマリは 0（未確定）
集計中 (aggregating)	青（点滅）	オーバーレイ：「集計中...」+ 訪問数	「集計中」+ 訪問数 + キャンセル。サマリは 0
完了 (ready)	緑	チャートを表示し、全操作が可能	「完了」+ 訪問数 + 再スキャン。サマリは確定値
エラー (error)	赤	データなし + 右下にトースト通知	「エラー」+ 再スキャン

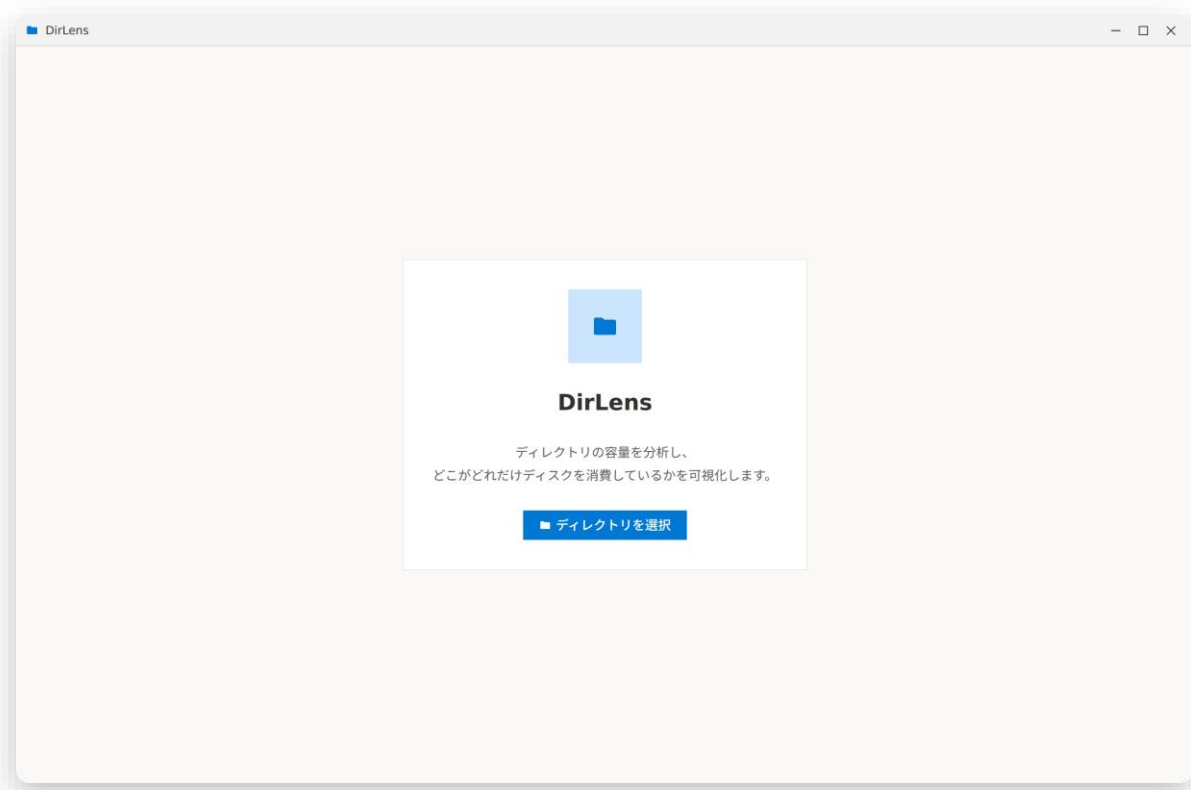
状態は *idle* → *scanning* → *aggregating* → *ready* と自動で遷移します。開始や集約に失敗すると *error* になり、再スキャンでやり直せます。

SECTION 1 / 5

分析を始めるまで

ディレクトリを選んでから、グラフが表示されるまでの操作と、スキャン中の見え方・エラー時の挙動を解説します。

ディレクトリの選択とスキャン開始



フォルダ選択ダイアログで指定

OS 標準のフォルダ選択ダイアログで、調べたいルートディレクトリを指定します。



3つの入口から開始できる

ウェルカム画面・ヘッダーのフォルダボタン・再スキャンのいずれからでも開始できます。



配下を高速に再帰走査

指定ディレクトリ配下を再帰的に走査し、メタ情報をインメモリ DB に格納します。



こんな時に使う 「このドライブ、最近容量が減ってきた気がする…」と思ったら、まずはCドライブ丸ごと、あるいは気になるフォルダを指定してスキャンしてみましょう。

スキャン中の進捗表示とキャンセル



進捗をリアルタイムに表示

訪問したフォルダ数・ファイル数、現在処理中のパスが常に表示されます。



いつでもキャンセル可能

間違えて開始した場合や途中でやめたい場合、キャンセルボタンで即座に中断できます。

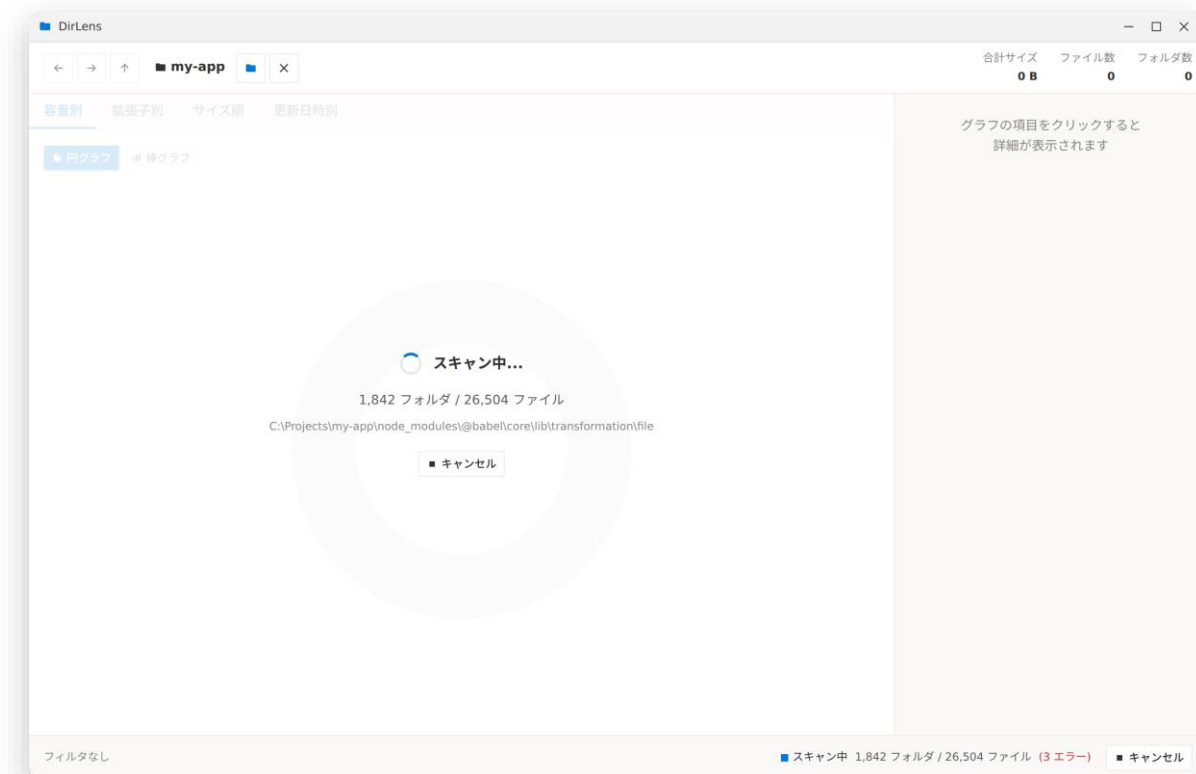


読めないファイルはスキップ

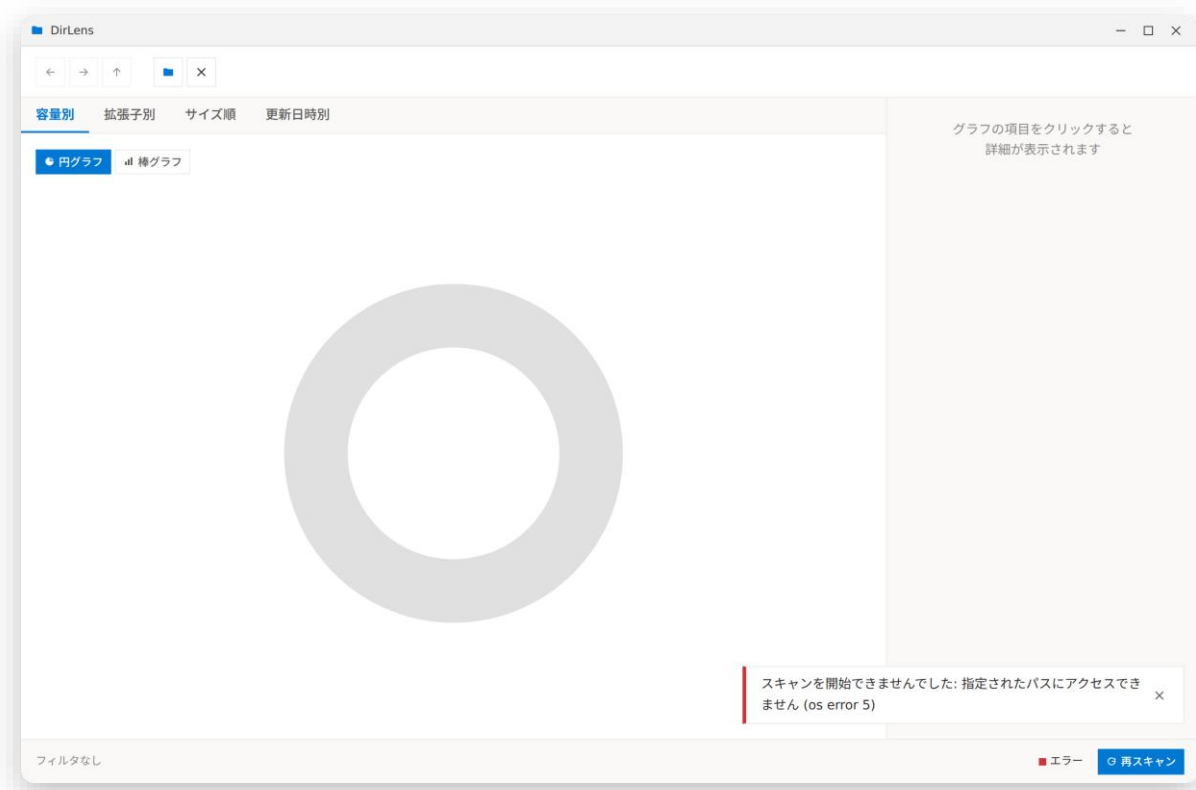
権限がないパスは自動でスキップし、エラー件数として記録されます（走査は継続）。



こんな時に使う 巨大なドライブのスキャンには時間がかかることがあります。フリーズしたように見えても、進捗の数字が動いていれば正常に処理中です。



エラー通知（トースト）



トースト通知で内容を表示

スキャン開始の失敗や集約処理の失敗を、画面右下のトースト通知で知らせます。



×で閉じて再スキャン

通知は×で閉じられます。ステータスは赤い「エラー」になり、再スキャンでやり直せます。



集約は600秒でタイムアウト

集約処理が極端に長引いた場合は、自動的にエラーとして扱われます。



こんな時に使う 指定したパスに読み取り権限がない、ドライブが外れているなど、スキャンを開始できない状況で表示されます。内容を確認し、別のフォルダを試すか権限を見直しましょう。

SECTION 2 / 5

4つの分析ビュー

同じスキャン結果を、容量・拡張子・サイズ・更新日時という
4つの視点から読み解けます。

基本の見方（円グラフ）



子ディレクトリと直下ファイルの内訳

現在フォルダ直下の、子ディレクトリ（配下合計）と直下ファイルの容量比率を表示。



上位項目は Inspector にも表示

円グラフと同じ上位5件を、右側の Inspector でリストとしても確認できます。

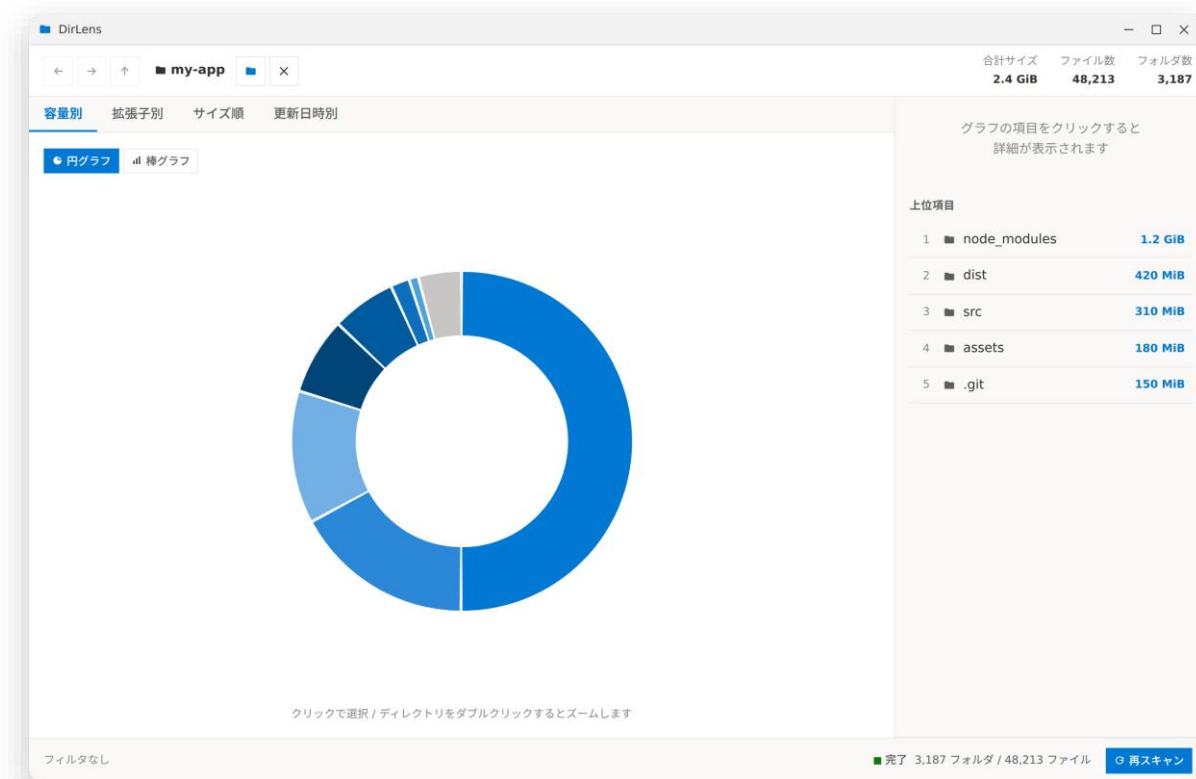


既定はドーナツ表示

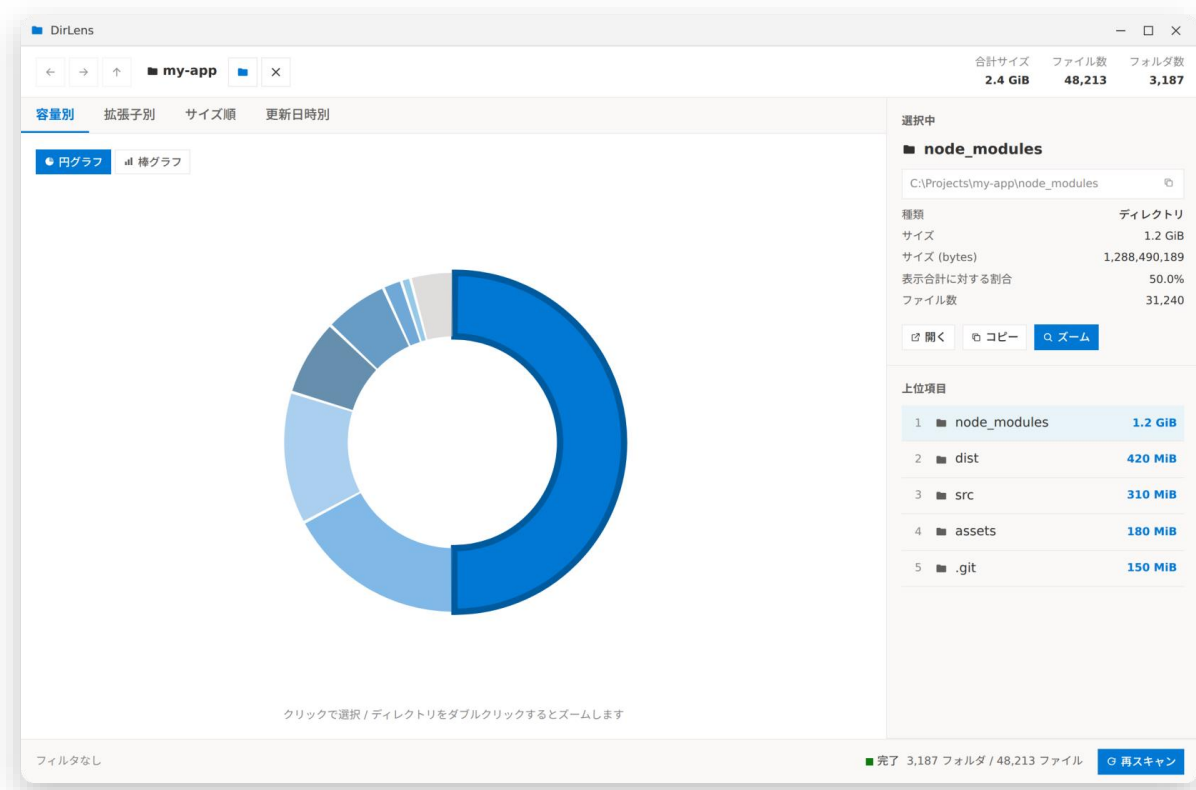
見やすさを重視したドーナツ型。項目が多い場合は自動で「その他」に集約されます。



こんな時に使う フォルダを開いた直後、まず「何が容量を占めているか」をざっくり把握したいときに使います。



項目を選択して詳細を確認する



クリックで選択

グラフの項目をクリックすると強調表示され、他のスライスは少し減光されます。

パス・サイズ・割合を確認

種類・サイズ（人間可読+バイト数）・表示合計に対する割合・ファイル数が表示。

開く・コピー・ズームを実行

OSで開く、パスをコピー、さらに深くズームすることができます。

こんな時に使う 「このフォルダ、正確に何バイトあるんだろう?」「全体の何%を占めているんだろう?」と気になったときに、クリックひとつで確認できます。

棒グラフ表示への切替



チャート切替ボタンでワンクリック

チャートエリア上部のボタンで、円グラフ ⇄ 棒グラフをいつでも切替可能。



横棒 + ラベル + サイズ表記

項目名とサイズを横に並べて表示するため、値の比較がしやすくなります。

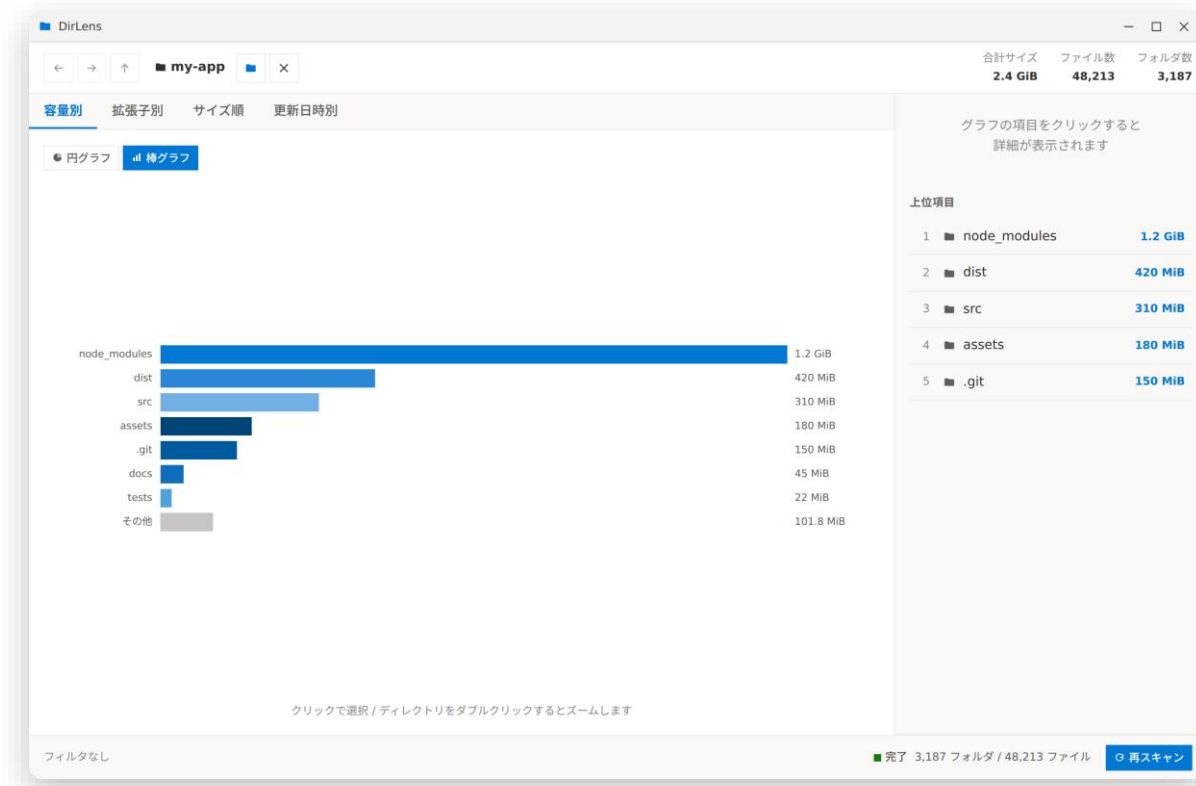


円グラフが見つらい時の代替

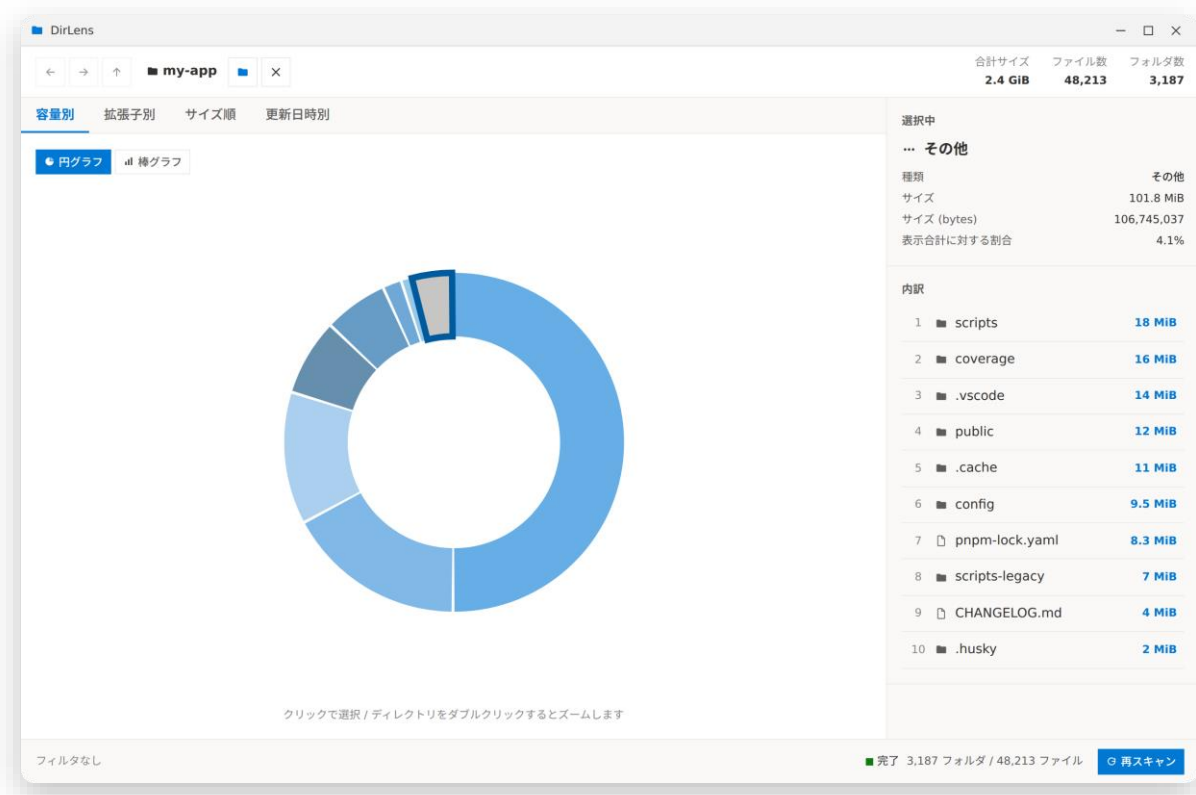
似たサイズの項目が多いと、円グラフでは差が分かりにくくなります。



こんな時に使う 似たようなサイズのフォルダが多く、円グラフのスライスが細くなって比較しづらいときは、棒グラフに切り替えるとサイズの違いが一目でわかります。



「TopN + その他」で見やすさを確保



上位10件 + 微小項目を集約

割合が 0.5% 未満の微小スライスも含め、自動的に「その他」へ畳み込まれます。



「その他」の内訳も確認可能

「その他」をクリックすると、内訳リスト（最大50件）がInspectorに表示されます。



グラフと内訳は必ず一致

内訳はグラフと同じ取得結果を共有しているため、表示内容に食い違いが起きません。



こんな時に使う サブフォルダの数が非常に多いプロジェクトでも、グラフが読みにくくなりません。「その他」に何が含まれているかも、ちゃんと内訳から確認できます。

ダブルクリックで深掘り（ズーム）



ダブルクリックで深く潜る

ディレクトリのスライスをダブルクリックすると、そのフォルダの中身にズームします。



Inspectorの「ズーム」ボタンでも可能

選択した後、Inspectorのズームボタンからも同じ操作ができます。

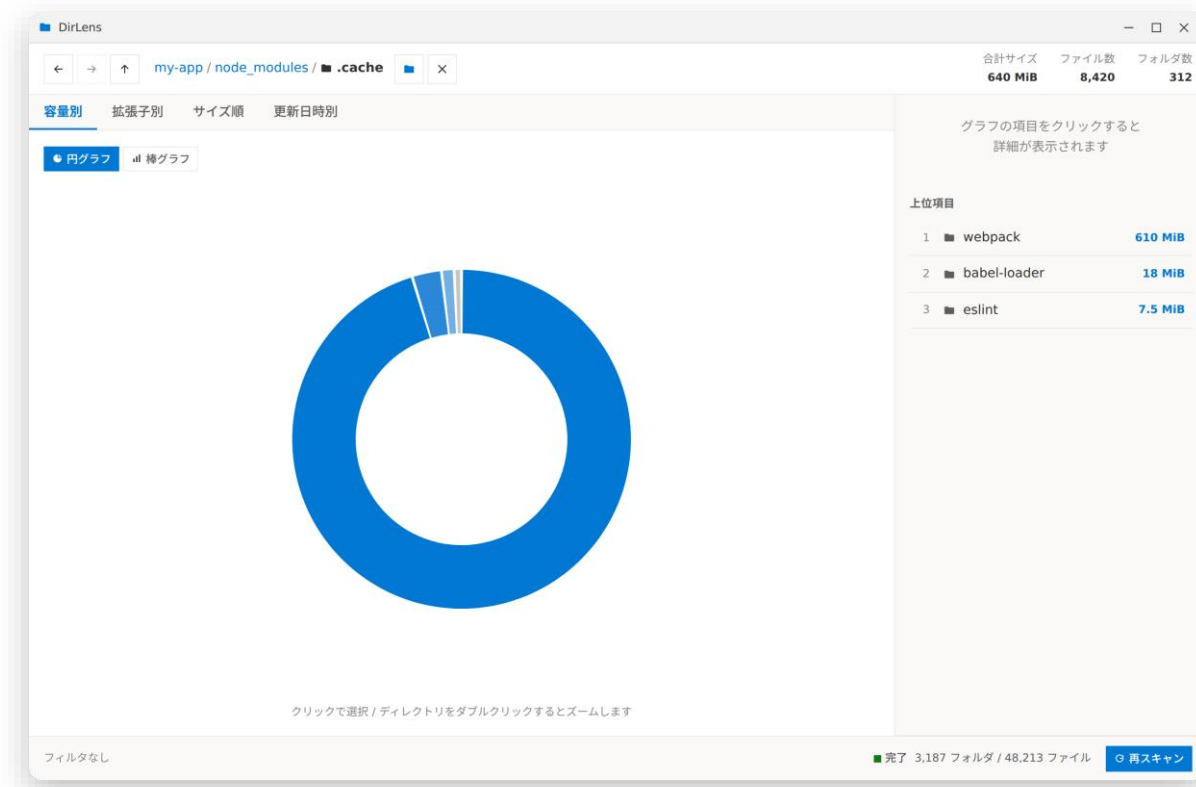


ヘッダーのサマリも現在地基準に

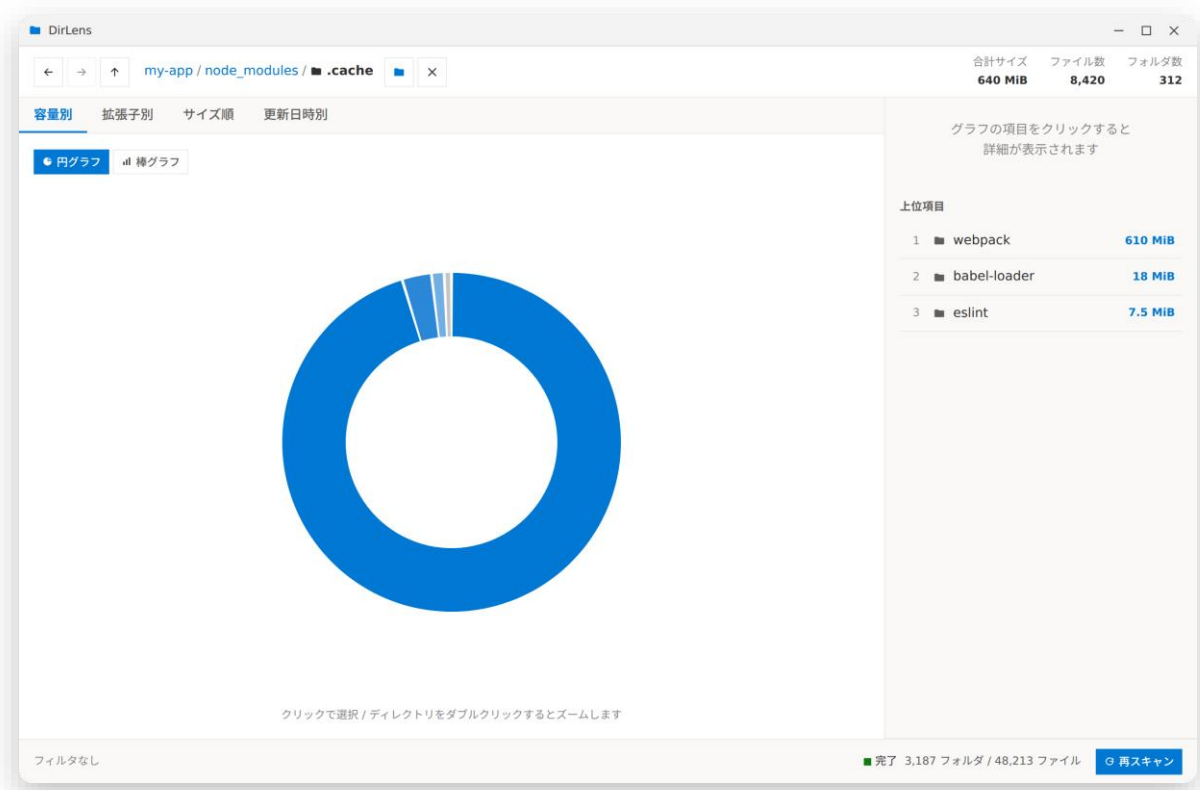
合計サイズ・ファイル数・フォルダ数は、常に「今見ているフォルダ」基準で表示。



こんな時に使う 「node_modulesが1.2 GBもある…でも中の何が大きいんだろう？」というときに、ズームして中身を深掘りできます。



パンくずとナビゲーション



戻る・進む・上へ

ズーム履歴をたどって移動。履歴がない場合や、ルートでは自動的に無効化されます。



パンくずで一気に移動

ルートから現在地までの祖先チェーンを表示。途中の項目をクリックすれば直接移動。



別のフォルダを開く・閉じる

ヘッダー右のフォルダボタンで新規に開き、×でウェルカム画面に戻れます。



こんな時に使う 深くズームしすぎて迷子になったときも、パンくずやナビゲーションボタンでいつでも自由に行き来できます。

サイズ基準で構成比を見る



拡張子ごとの構成比を表示

.js や .png など、ファイルの種類ごとにサイズの構成比をグラフ化します。



「拡張子なし」も1分類として表示

拡張子を持たないファイルも、独立した分類としてきちんと集計されます。

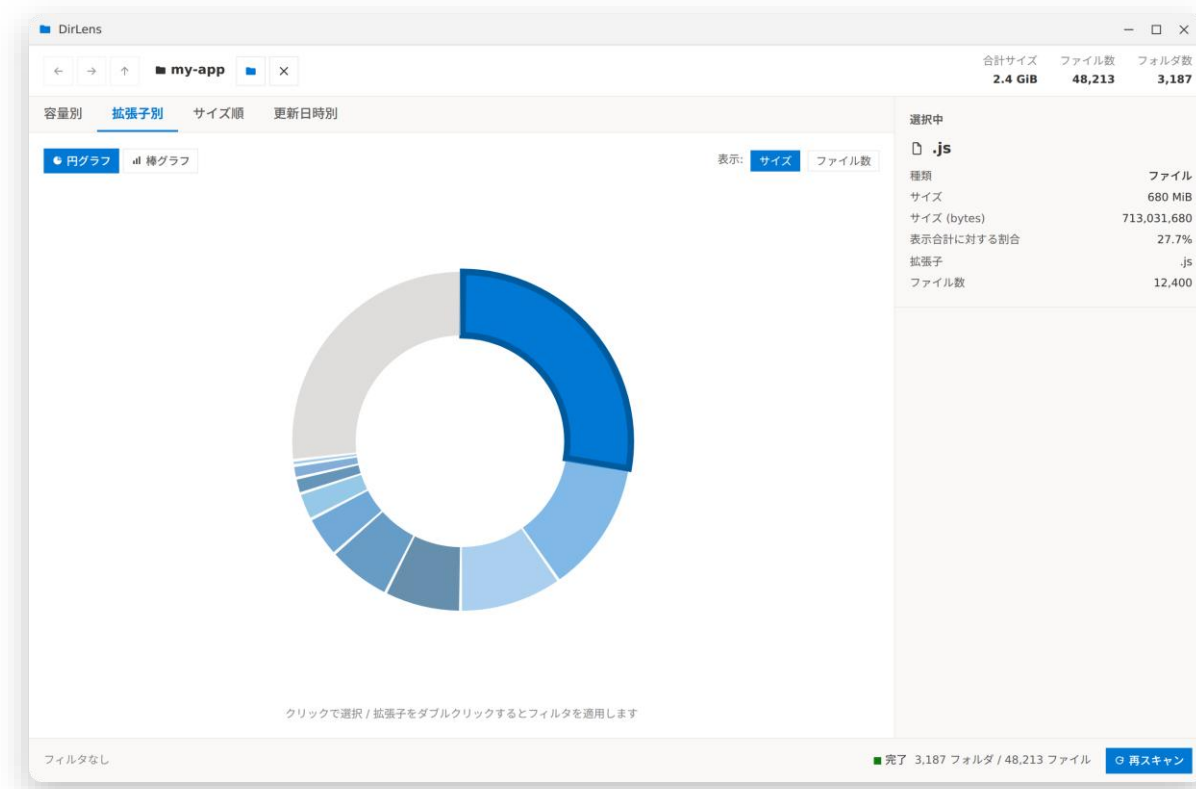


ダブルクリックでフィルタ適用

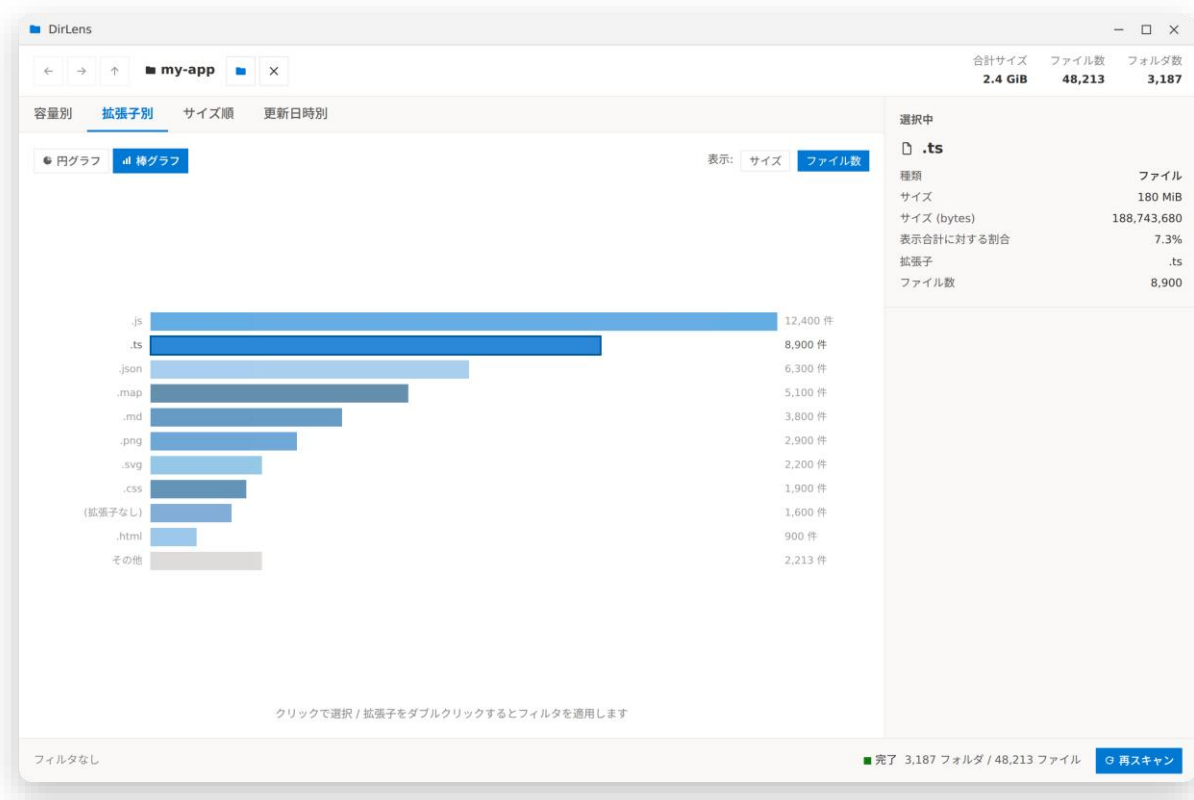
拡張子のスライスをダブルクリックすると、その拡張子で全ビューを絞り込めます。



こんな時に使う 「ログファイルだけで何 GB あるんだろう？」 「画像ファイルの割合はどれくらい？」 など、種類単位で容量を把握したいときに便利です。



ファイル数基準に切り替える



サイズ / ファイル数をワンクリックで切替

表示切替ボタンで、容量基準と件数基準をいつでも切り替えられます。



件数ベースは「N 件」表記に

値の表記が「680 MiB」のようなサイズから、「12,400 件」のような件数に変化。



構成比も件数基準で再計算

割合 (%) も、選択した基準 (サイズ / 件数) に応じて計算し直されます。



こんな時に使う 「サイズは小さいけれど、大量にある拡張子」を見つけたいとき。小さなキャッシュファイルが大量にあるケースなどが一目でわかります。

リスト表示 (Top Files)



サブツリー内のサイズ上位ファイル

現在フォルダ配下（再帰）から、サイズが大きい順にファイルをリスト表示。



拡張子・更新時刻・サイズを一覧

各ファイルの拡張子、相対更新時刻、サイズをまとめて確認できます。

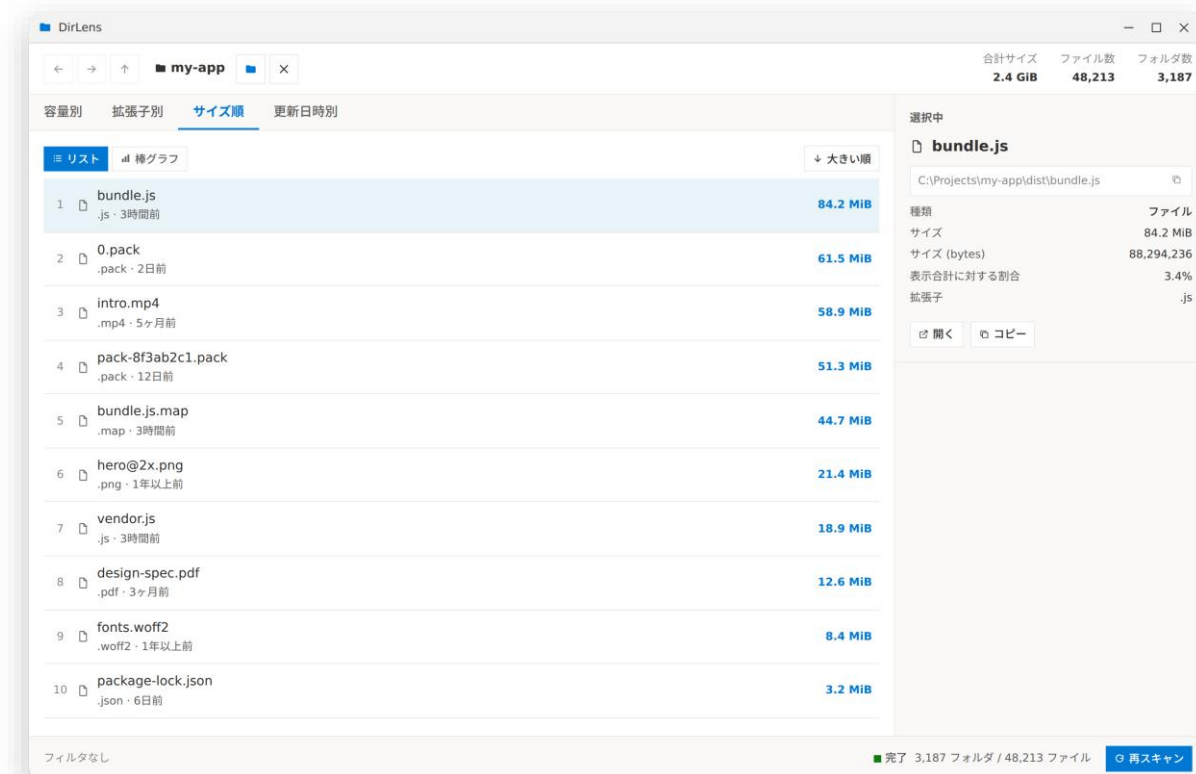


昇順・降順を切替可能

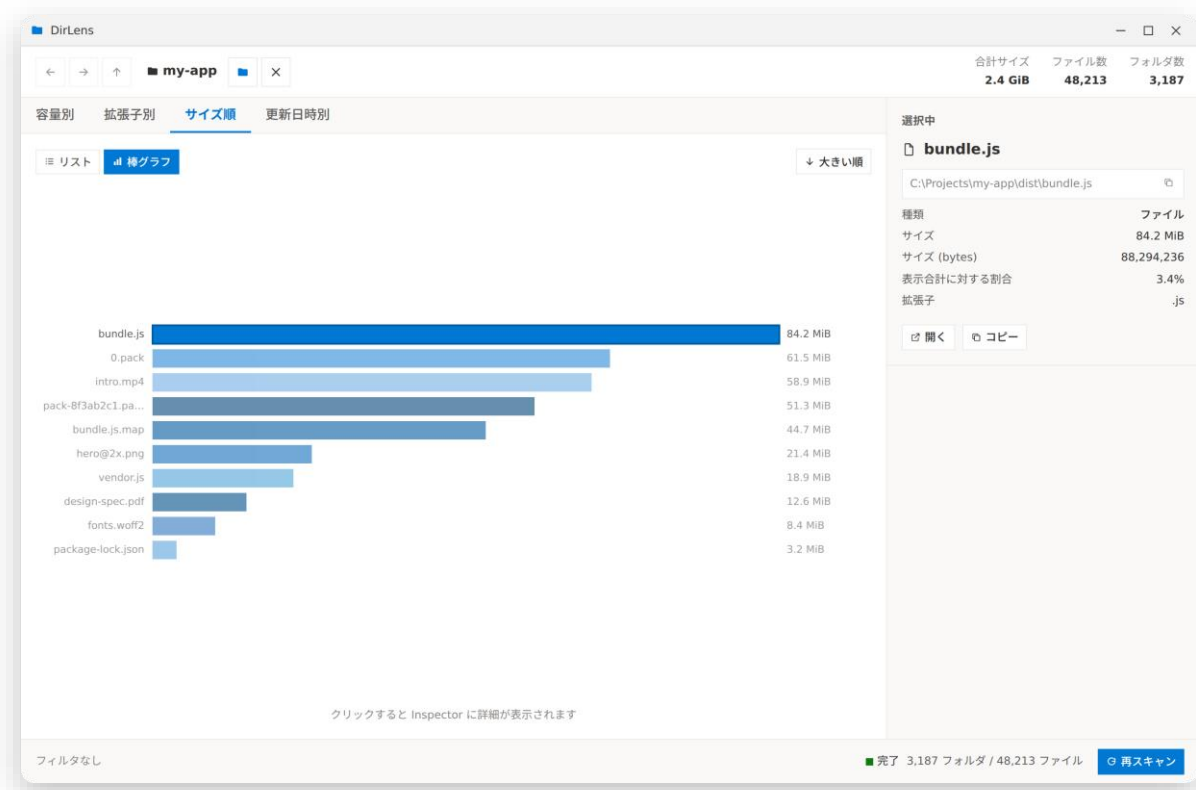
「大きい順」「小さい順」をボタンひとつで切り替えられます。



こんな時に使う 「とにかく一番デカイファイルはどれ？」を即座に知りたいときに使います。1つの巨大ファイルが原因であるケースは意外と多くあります。



棒グラフ表示 (Top Files)



同じデータを棒グラフで表示

リストと同じ TopN ファイルを、大小が視覚的に比較しやすい棒グラフで表示。



フィルタも反映される

拡張子・更新日フィルタを適用した状態でも、条件に一致するファイルの TopN を表示。



長いファイル名でも比較しやすい

ファイル名が長い場合、リストよりも棒グラフの方が大小を比較しやすいことがあります。



こんな時に使う ファイル名だけでなく、サイズの差を視覚的にパッと比較したいときに切り替えて使います。

Age View — 更新時期で分布を見る



6つの更新日バケットで分布表示

24時間以内・7日以内・30日以内・1年以内・1年以上前・不明の6区分で棒グラフ表示。



基準時刻は集計完了時点で固定

「今」を基準にし続けるとセッション中に結果がずれるため、集計完了時点で固定されます。

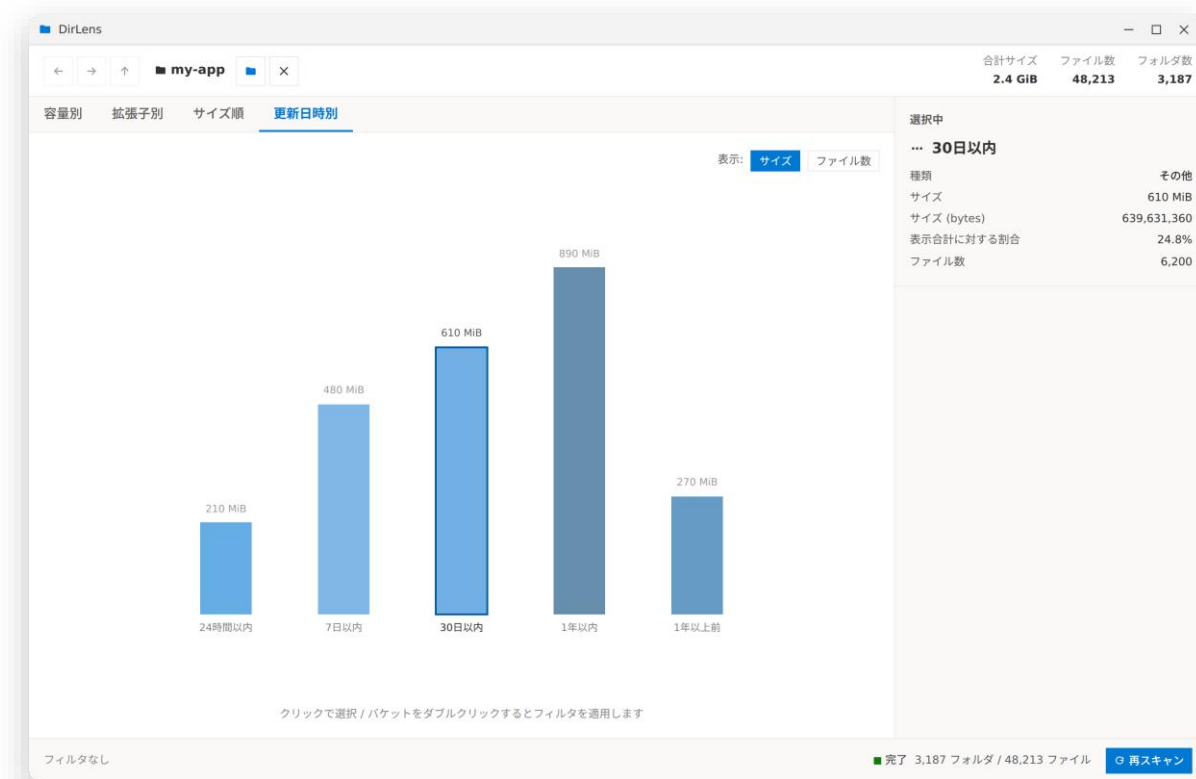


ダブルクリックでフィルタ適用

バケットをダブルクリックすると、その期間のファイルだけに絞り込みます。



こんな時に使う 「最近急に増えたファイルはどれか」「何年も使っていない古いファイルが眠っていないか」を調べたいときに便利です。



SECTION 3 / 5

絞り込みと詳細確認

気になる条件で絞り込み、選んだ項目の詳細をとことん確認できます。

拡張子・更新日で絞り込む



拡張子・更新日で絞り込み

拡張子別・更新日時別ビューのスライスをダブルクリックすると、フィルタが適用。



チップとして常時表示

適用中のフィルタはボトムバーにチップとして表示され、内容が一目でわかります。

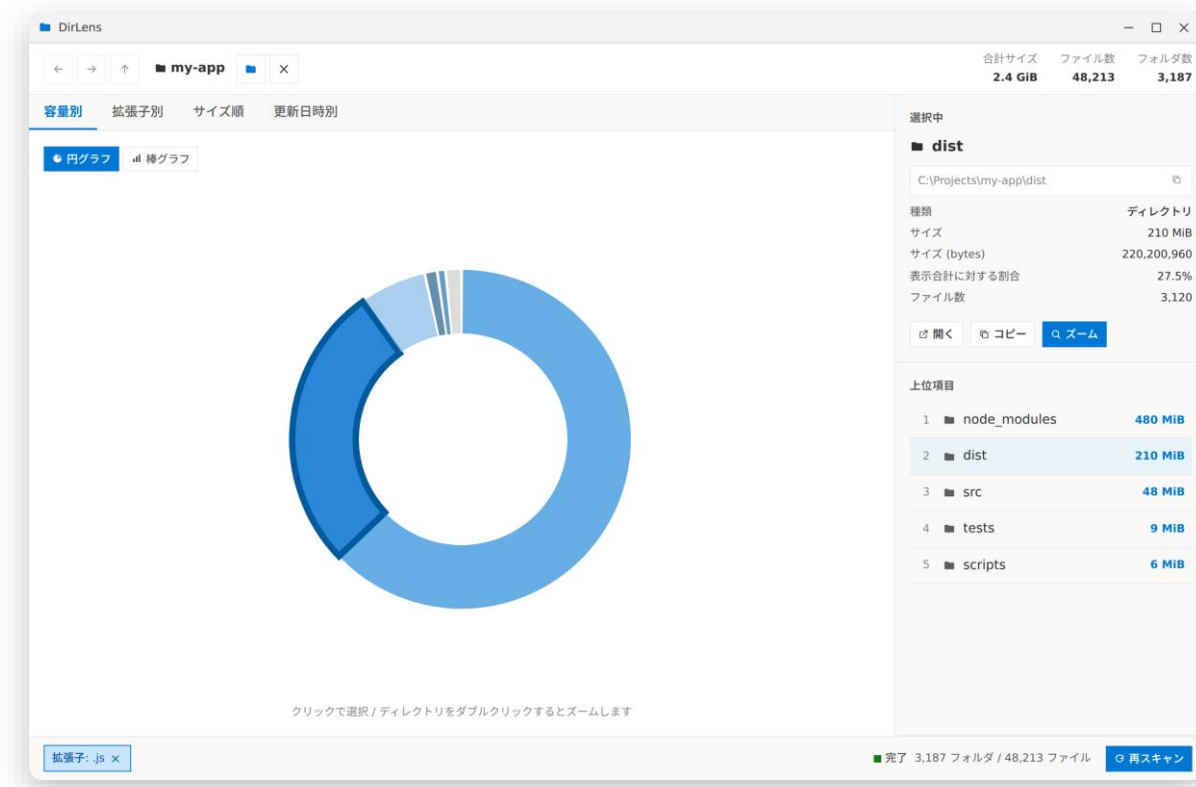


×ワンクリックで解除

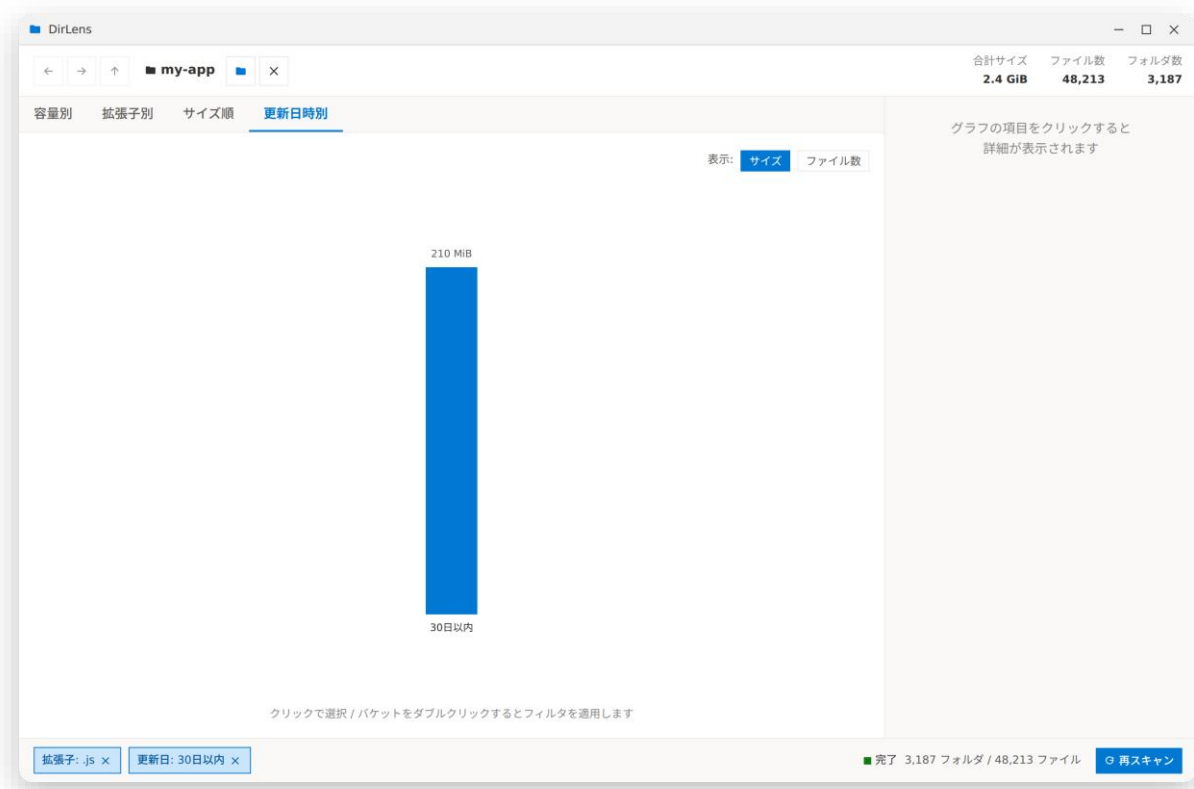
チップの×ボタンで、そのフィルタだけを個別に解除できます。



こんな時に使う 「.js ファイルだけに絞って、どのフォルダに集中しているか見たい」というように、条件付きで深掘りしたいときに使います。



拡張子 × 更新日の複合適用



2条件を同時に適用できる

拡張子 + 更新日の2条件を同時に適用して、より絞り込んだ分析ができます。



全ビュー共通、ズームをまたいでも維持

ビューを切り替えても、ディレクトリをズームしても、フィルタは維持されます。



構成比の分母は絞り込み後の合計

フィルタ適用中は、グラフの割合が「絞り込み後の合計」を基準に再計算されます。



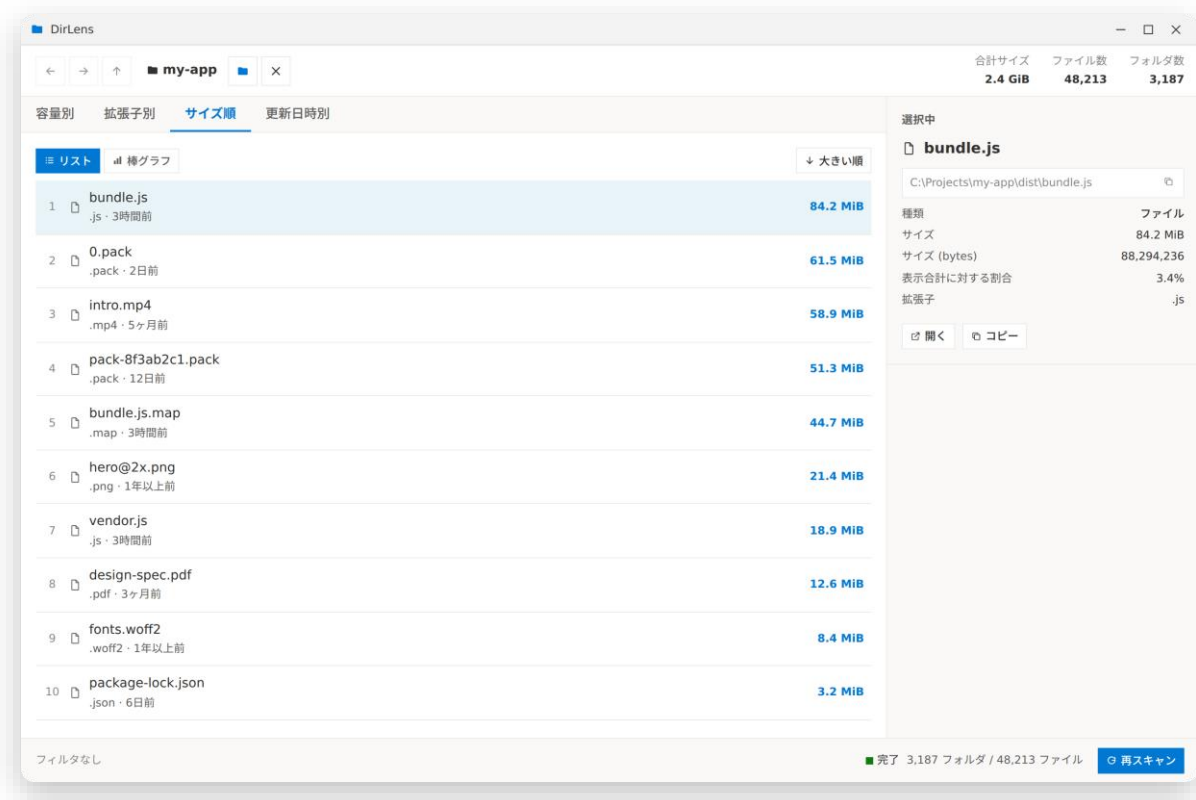
こんな時に使う 「最近30日以内に増えた .js ファイルがどこにあるか知りたい」というような、複合条件の調査に威力を発揮します。

Inspector パネル 完全ガイド

表示項目	内容
名前	選択した項目の名前を、種別アイコン（フォルダ/ファイル）付きで表示します。
フルパス	コピー用ボタンを備えたパス表示。テキストとして選択することもできます。
種類	ディレクトリ / ファイル / その他 のいずれかを表示します。
サイズ	人間可読表記（例: 1.2 GiB）と、バイト数（例: 1,288,490,189）を併記します。
表示合計に対する割合	現在表示している範囲（フィルタ適用中は絞り込み後の合計）に対する割合です。
拡張子 / ファイル数	ファイルの場合は拡張子、ディレクトリの場合は含まれるファイル数を表示します。
アクション	開く（OS で表示） / コピー（パスを取得） / ズーム（ディレクトリのみ、深掘り）。
内訳・上位項目	「その他」選択時は内訳リスト（最大50件）、未選択時は上位5件を表示します。

未選択時は「グラフの項目をクリックすると詳細が表示されます」というヒントが表示されます。

OS で開く・パスをコピーする



「開く」で OS のファイルマネージャへ

フォルダはそのまま開き、ファイルの場合は親フォルダを開いて対象を選択状態にします。



「コピー」でフルパスを取得

クリップボードにフルパスをコピー。他のツールに貼り付けて使う際に便利です。



削除・移動はここでは行わない

DirLens から直接ファイル进行操作することはできません。判断と操作は開いた先で行います。



こんな時に使う 「このファイル、本当に消していいのか中身を見てから判断したい」というときに、ワンクリックでエクスプローラーへジャンプできます。

SECTION 4 / 5

運用とルール

再スキャンや表示ルールなど、日々使う上で知っておきたいポイントをまとめます。

再スキャンとキャンセル



「再スキャン」で最新の状態を取得

ボトムバーの再スキャンボタンで、現在のディレクトリを最新の状態で取り直せます。



キャンセルすると内容は空になる

スキャン中にキャンセルするとDBがリセットされ、「待機中」の空の状態に戻ります。

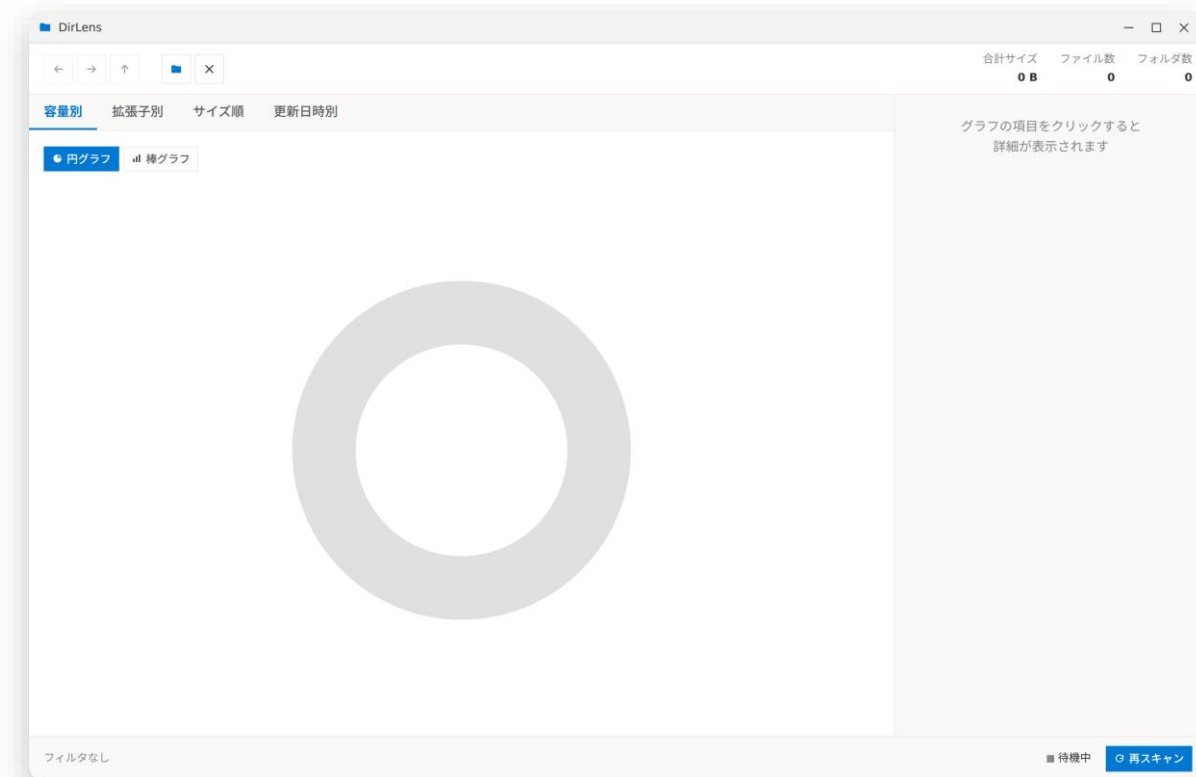


×ボタンでウェルカム画面へ

ヘッダーの×で、別のディレクトリを選び直すためにウェルカム画面に戻れます。



こんな時に使う ファイルを整理した後、「変化を反映した最新の状態を見たい」ときは、再スキャンするだけで最新の内訳がすぐに得られます。



表示フォーマットのルール

項目	ルール
サイズ表記	1024 進数（B / KiB / MiB / GiB / TiB）。Inspector ではバイト数も併記します。
数値の桁区切り	3桁ごとにカンマ区切りで表示します（例: 48,213）。
割合の表記	小数点第1位まで表示します。0.1% 未満は「< 0.1%」と表示されます。
拡張子の表記	「.js」のようにドット付きで表示（内部的には "js"）。拡張子なしは「(拡張子なし)」。
相対時刻の表記	たった今 / N分前 / N時間前 / N日前 / Nヶ月前 / N年以上前、の形式で表示します。
更新日バケットのラベル	24時間以内 / 7日以内 / 30日以内 / 1年以内 / 1年以上前 / 不明、の6区分です。



メモ ウィンドウサイズは既定 1280×800、最小 1000×640。Inspector パネルは右側 340px 固定です。

DirLens が「やらないこと」

DirLens は「構造理解・分析ツール」です。次の機能は、意図的にスコープ外としています。



ファイル操作（削除・移動・リネーム・編集）

ファイルマネージャの代替にはなりません。操作はいつも OS 側の手元で行います。



クラウド同期・共有

スキャン結果を他の端末と同期したり、共有したりする機能はありません。



コンテンツハッシュ・MIME 推定・全文検索

ファイルの中身は見ません。パス・サイズ・更新日時などのメタ情報のみを扱います。



複数ディレクトリの同時スキャン

一度にスキャンできるのは、1つのルートディレクトリ配下のみです。



スキャン結果の保存・過去との比較

データはインメモリで保持され、アプリ終了とともに破棄されます。

SUMMARY

DirLens で、ディスクの中身をもっと分かりやすく



容量配分の把握

容量別・拡張子別・サイズ順・更新日時別の4視点で全体像を把握



ドリルダウンで原因追跡

ダブルクリックでズームし、肥大化の原因を階層をたどって特定する



条件を絞って深掘り

拡張子・更新日のフィルタを組み合わせ、狙った条件だけを分析する



閲覧専用の安全設計

ファイルの削除・移動は一切なし。判断と操作は、いつも自分の手で

もっと手早く要点だけ知りたいときは「DirLens の始め方」もご覧ください。